



地域と連携した防災訓練

取材

概要： 剣崎小学校全校生徒が、地域の方たちと合同で地震と津波を想定した防災訓練を行った。

小学校全校
学校行事



実施内容

1. **実施校** 剣崎小学校
2. **目的** 津波を想定した防災訓練を定期的に行い、実際に地震や津波災害が起きた際に、地域と連携して素早く避難を行うことを可能にする。
3. **内容** 校内で地震、津波が起きたことを想定した放送をし、グラウンドに集合。地域と連携して標高の高い安全な場所まで避難する
4. **日時** 平成28年 6月7日(火) 14:30～15:30
5. **場所** 剣崎小学校、松輪野菜集出荷所
6. **参加者** 剣崎小学校全校児童生徒
7. **指導者** 剣崎小学校校長、教頭、教員
8. **協力者** 地域の方々、保護者、消防署員、消防団員、防災課、警察官
9. **持ち物** 防災頭巾、カバン、筆記用具

当日の様子

○校内放送で地震、津波発生が告知され、児童生徒たちは、担任の先生についていきながら校庭へ向かい、集合した。

○児童、生徒たちは、消防団の方たちに付き添われながら集出荷所へ向かった。集出荷所では保護者、消防署、消防団、地域の方、防災課など、たくさんの方々が見守っていた。

○「地震、津波の危険性、二次被害を防ぐために家のブレーカーを落としてください」「『おかしも』』という言葉覚えておいて下さい」防災課、消防署の方が何度も念を押して、集積所にいるすべての人達に伝えていた。

○校長先生は、「今回は、子どもたちはもちろん、保護者や地域の人たちにとっても良い訓練になった」と話していた。